



ながやと

教育目標
学びを楽しむ子
人を大切にする子
挑戦する子

子供たちの探究する姿

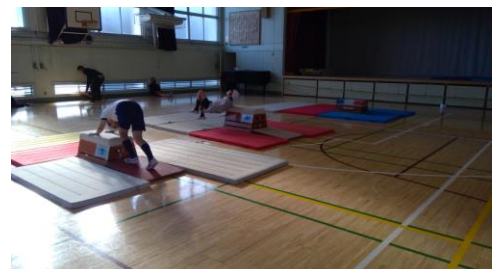
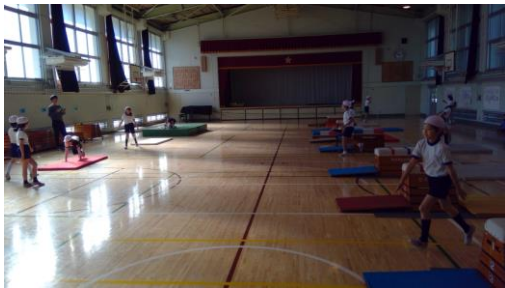
副校長 鈴木 朱代

「跳び箱の 突き手一瞬 冬が来る」 友岡子郷

朝夕は冷える季節になりました。この時期、長谷戸小の子供たちは、体育の時間に跳び箱の学習に取り組む学年が多いです。もしかすると上の句のようなことを感じる子供もいるのではないのでしょうか。体育館に暖房が入っていても、それぞれの器具は冬の空気をまとっています。

学習の様子をのぞいてみると、勢いよく助走し、力強く手を突き、楽々と跳ぶ子、踏切版で止まってしまふ子、頑張っても跳んでも跳び箱の上に跨ってしまう子、それぞれが何度も何度も挑戦している姿が見られます。

学年が上がると跳び箱の上で台上前転にも挑戦します。どの学年も自分の技量を確かめ、技を達成するためにマットの上で様々な準備運動をしています。また、上手に跳べる友達の技を見て自分の技と比較し、参考にします。まさしく子供たち一人ひとりが探究し課題解決に向けて邁進しています。



図工室では展覧会に向けて最後の仕上げにはいりました。こちらも子供たちそれぞれの探究心が作品という形になりました。そして現在、アート交流に向けての準備が進んでいます。16日土曜日は各学級や学年で思考を凝らした交流が展開されます。タイミングが合えば、保護者や地域の皆さんにも体験していただけるかもしれません。

また、4日、5日には給食に「おえかきパン」「シェパーズパイ」の献立があります。子供たちは、ジャムやケチャップで思い思いにパンやパイをデコレートします。いつもと違う給食で、子供たちがどんな表情を見せるのか楽しみです。この場合は作品としての期間は短く、美味しく残さずいただきます。

今年も残すところ1か月となりました。毎年のことながら、師走は文字どおり慌ただしさが増すように感じます。そんな中でも、今年1年、新しくできるようになったこと、年初のめあてが達成できなかったこと、新たな出会い、別れを振り返り、来年のめあてや夢に希望をもつことが大切です。そのためには、健康第一。26日から始まる冬休みも健康・安全に気を付けてお過ごしください。

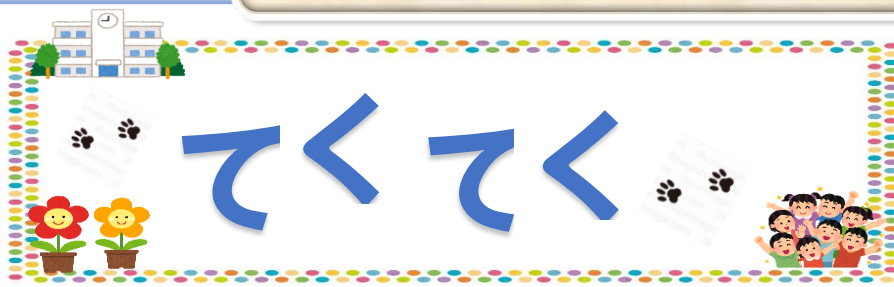
「シブヤ未来科」について

本校では、後期から毎週月曜の5時間目にマイプロジェクトタイムを実施しています。子供たちは、自分の好きなことに進んで楽しみながら本気で取り組んでいます。今後も、自分で課題を見付け、試行錯誤しながら、課題解決に取り組む探究的な学習ができるように支援していきます。

さて、次年度、渋谷区立小中学校では、シブヤ未来科をさらに拡大します。総合的な学習の時間以外の教科でもシブヤ未来科として探究的な学習を行うことができますようにします。各教科の時数の1割ほどをシブヤ未来科として探究的な学習を行う予定です。理科や社会などの純粋な教科の時間ではありませんが、理科や社会などの教科の内容にも関わるようなカリキュラムで実施します。いわゆる合科的な学習です。午前中は教科の学習を、午後はそれを発展させた探究的な学習を行う時間にできればよいと考えています。

シブヤ未来科については、渋谷区教育委員会からの別添の資料も合わせてご覧ください。

各学年からのお知らせ



第1学年

担任 遠藤 祥子

権代 識至

副担任 福長 宙

○国語「しらせたいな、見せたいな」について

「しらせたいな、見せたいな」の学習で、学校の生き物について家の人に知らせる紹介文を書きました。紹介文がもうすぐ完成しますので、紹介文を持ち帰りましたら、ご家庭で読んでいただき、家の人からの言葉の欄に感想を書いてください。どんなことが伝わってきたか(うさぎのかわいいところ、カメの元気なところ、かっこいいところなど)を感想として書いていただくと、子供たちの励みとなります。ご協力よろしくお願いいたします。

○筆箱の中身について

全ての持ち物に記名されているか、鉛筆が削れているかなど、学習の準備ができているか、子供たちと一緒にご確認をお願いいたします。

にっこ にこ



第2学年

担任 木暮 拓也

土岡 未可子

副担任 原 薫美子

○九九マスターが続々と！

授業の中で、九九カードをふつう、逆、バラバラと3段階の言い方で暗唱するテストを行っています。最初は苦戦する子も多くいましたが、ご家庭でも取り組んでいただいているおかげで、だんだんと合格者が増えてきました。引き続き、正確に九九の計算ができるように、ご協力をお願いいたします。

○もうすぐ冬休み！

気が付けばもう今年も終わろうとしています。冬休みに入るにあたり、今一度、子供たちと一緒に筆箱や各持ち物の確認をお願いいたします。特に、記名されていないものの落し物が多いので、記名は必ずするようにしてください。

○個人面談について

11日(月)から個人面談が始まります。詳しくは、後日お知らせいたします。



第3学年

担任・綿田 恭子

倉富 康平

○持ち物について

先日子供たちと、持ち物についてのやくそくを改めて確認しました。ご家庭でも、時々お子さんの持ち物や筆箱の中身を見ていただくとありがたいです。発達段階に合った、そして学習の妨げにならないような学習用具をご用意いただけるよう、お願いいたします。

○12月8日(金)、12月22日(金)の3年2組の下校時刻について
いずれも研究授業のため、8日(金)は**6時間授業(下校時刻14時40分頃)**、22日(金)は**5時間授業(下校時刻13時50分頃)**となります。ご承知おきください。

○冬休み明けの登校について

1月9日(火) 4時間授業 給食あり

持ち物…防災頭巾、上履き、連絡袋、連絡帳、筆箱、習字セット
書き初めの手本、宿題の書き初め(1枚)



Go Forward



第4学年
 担任：大橋 人紀
 石川 瑤大
 副担任：柳井 浩美

◎12/19(火)TGG◎

12/19にTGG (Tokyo Global Gateway) 体験型英語学習施設に行きます。オールイングリッシュの環境で、子供たちは自分自身の英語の「力試し」をすることができます。

【スケジュール】

8:15 学校出発

8:45 TGG 着

12:00 TGG 発

12:30 学校着 (給食を食べます)



◎学習用具の準備についてのお願い◎

授業で使用している学習用具について、ノートの残りが少なくなっていたり、えんぴつが削れていなかったり、用具に記名がなかったりすることが増えています。お手数ですが、各ご家庭にて今一度、お子様と一緒に各持ち物の確認をお願いします。ノートに関しましては4月に学校から配られたものと同じものをご用意ください。

<ノート>

国語→タテ12行中心リーダー入り

算数・理科・社会→5mm方眼中心リーダー入り



シン・ゴネン

第5学年

担任：土屋 直貴

平野 京香

展覧会について

図工の授業で様々な作品を一人一人が思いを込めて色、材料、配置などにこだわって創り上げました。

また、今年度始まった家庭科の授業。初めて行ったミシンや手縫いを駆使してウォールポケットを作りました。作品が完成するまでの子供たちの姿を想像してぜひじっくりとご鑑賞ください。



始業日について

1月9日(火) 4時間授業
給食あり

持ち物

防災頭巾、上履き、連絡袋、筆箱、タブレット、給食白衣(当番だった人)、宿題の書初め1枚、習字セット



WAKI★AIAI

第6学年

担任：水谷 光雄

① 12/8(金) 社会科見学

電車で国会の見学に行きます。

参議院特別体験プログラムに参加した後、見学をします。交通費とお弁当が必要です。

交通費の詳細やその他の持ち物などについては、後日しおりを配布します。

② 12/11～12/15 個人面談期間

お忙しい折ですがよろしくお願いいたします。受験に関して、調査書等の準備が必要な場合は、面談の際など早めにお持ちください。



『長谷戸美術館☆開館！』

展覧会委員長 原 薫美子

～ 子供のための行事にするために ～

暑い暑い夏を経て、図工室から見える木々の葉が落ち始める季節となりました。長谷戸小学校では、12月11日（月）から展覧会・『長谷戸美術館』が開館します。一番大きな目標は『**見ること**👁️❤️**つくること**🎨**を楽しもう**』です。少し先になりますが長谷戸美術館の見どころを皆さんにお伝えします。



見どころその1☆ 『本校専属アーティストたちの多様な表現』

何といても1番の見どころは本校アーティスト・長谷戸小の子供たちの表現です。図工、家庭科の時間につくりあげた作品が1・2階の廊下や体育館に展示されます。カラフルな作品、あまり色のついていない作品、大きな作品、ちいさな作品……。いろいろありますが、その作品は、魔法のようにぱっとできたものではありません。課題と出会い、考え、試し、自分の表したいことを見つけ、材料や道具を使って工夫して表して…と、様々な過程を経てつくりあげられました。見た目だけの『上手い下手』ではなく、子供一人一人が自分だけの意味や価値のあるものをつくり出す過程での姿を思い浮かべたり、色や形に込められた思いを大切にしたりしてご鑑賞ください。

見どころその2☆ 『なんと！1週間開館！』 / 『見ること👁️❤️を楽しもう』

今回の長谷戸美術館は、なんと！12月11日（月）～16日（土）の6日間も開催します。子供たちは『**見ること**👁️❤️**を楽しもう！**』をテーマに1週間の展示期間、ゆっくりと授業の中で個人鑑賞します。また、縦割り班のペア学年の子と一緒に鑑賞をする時間も設定しています。鑑賞の活動では、子供たちが『**見ることを楽しむ**』『**見方を広げる**』と共に『**表現は皆、それぞれ違う**』『**人は様々な見方や感じ方がある**』と、多様な表現や価値観を感じ、多様性を認め合える力を身に着けることにもつなげていければと思っています。皆さんも来るたびに新たな発見があるかもしれません。個人で、子供と、保護者同士で…と何度でもご来館ください。

見どころその3☆ 『最終日にはアート交流！』 / 『つくること🎨を楽しもう』

展覧会最終日16日（土）には、アート交流が開催されます。子供たちが『**つくるを楽しもう！楽しませよう！**』をテーマに図工・家庭科での学びを生かしたお店を開きます。各学級・学年で自分たちのやりたいことを出し合い、話し合いながらお店の内容を決め準備を進めています。「つくって遊べるおかしワールド」「ぶくぶくわくわくバブルアート」など、お客さんがものづくりを楽しめるお店や、「バッティングセンター」「射的屋さん」など、自分たちがつくったもので楽しませるお店と、様々なお店が開店する予定です。この活動は子供たちがやりたいことを出し合い、一人一人がやりたいことに向かって探究的に取り組む活動でもあります。また、代表委員を中心に活動の名前を決めたり、各委員会に仕事の依頼をしたりと子供たちが主体的に進める場面も設けています。当日は、長谷戸小学校の子供優先になりますが空いているお店でしたら保護者や地域の方も参加することができます。

ご来館された皆様には、子供たちへの温かな言葉がけと、アンケートの記入をお願いしたいと思います。アンケートには子供たちへのメッセージを書く欄があります。そのメッセージを校内に掲示し、子供たちに返し、『次はこうしよう！』という学びや、『次もがんばろう！』という次の学びの意欲につなげていきたいと思っていますのでご協力よろしく願いいたします。

行事は子供たちのためにあります。そして、行事は子供の大きな学び、成長のチャンスが様々な場面であり、この行事を通して子供一人一人の学びが日常の、これからの子供たちに生かされ、豊かで楽しい毎日を送ることにつながることを願っています。



●12月の生活目標

『身のまわりの
整理整頓をしよう』

お 知 ら せ

登下校時の安全について

朝晩と冷えるようになりました。登下校中の様子を見ると、ポケットに手を入れて歩いている児童が多く見られます。転んだり、何かあったりした際に、とっさに手が出せないとケガをしたり、反対にさせたりしてしまうことがあるかもしれません。寒かったら、手袋🧤をして安全に登下校できるようにしましょう。

冬休みの過ごし方について

冬休みが近づいてきました。年末・年始は子供たちにとって、楽しみな時期になります。しかし、一歩間違えると、取り返しのつかない事件や事故に巻き込まれてしまうこともあります。

長谷戸小学校では、【ながやと冬休みの過ごし方】を12月21日(木)に配信します。

ご家庭でも、お子様と一緒に読みいただき、健康で安全で豊かな冬休みを過ごしていただきたいと思います。

冬休み明けの登校について

冬休み明けの登校

令和6年1月9日(火)
8:10~8:20に間に合うように登校をお願いします。
全校朝会があります。

◆4時間授業 給食あり
12:25完全下校

12月の行事予定



日	曜	行 事	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	金	★	5		6			
2	土							
3	日							
4	月	委員会活動 ※SC(区)	5		6			
5	火		5	6				
6	水		4					
7	木	※SC(都)	5	6				
8	金	★ 国会見学⑥ 3年2組/6時間授業(区研究会のため)	5 (※3の2のみ6時間)		6			
9	土							
10	日							
11	月	展覧会「長谷戸美術館」始 安全指導 個人面談① ※SC(区)	4	5				
12	火	個人面談② 5時間授業(個人面談のため)	5					
13	水	個人面談③	4					
14	木	個人面談④ 5時間授業(個人面談のため) ※SC(都)	5					
15	金	★個人面談⑤ 5時間授業(個人面談のため)	5					
16	土	★土曜日授業/アート交流 エンディングイベント金管「マーチングドリル」 給食あり 展覧会最終日	5					
17	日							
18	月	マイプロジェクトタイム ※SC(区)	5		6			
19	火	TGG④	5	6				
20	水		4					
21	木	大掃除 クラブ活動 ※SC(都)	5		6			
22	金	★給食終 4時間授業 冬休みを迎える式 3年2組/5時間授業(校内研究授業のため)	4 (※3の2のみ5時間)					
23	土							
24	日							
25	月	16日の振替休業日						
26	火	冬季休業日始						
27	水							
28	木							
29	金							
30	土							
31	日							

学校閉庁日
12/29 ~1/3
警備員のための対応になります。
(8:30~16:30)



★：特別時程 (全)：全学年
SC：スクールカウンセラー来校日

グローバル社会で活躍する自律した学習者をはぐくむ シブヤモデル「未来の学校」

探究「シブヤ未来科」スタート!

ICT×探究 + 地域×企業



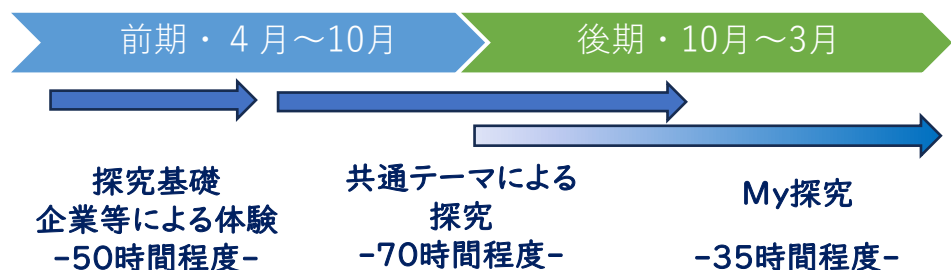
学校の1日の流れの例(令和6年度)

中学校は、時間講師の関係で、午後の探究時間に変更もあります。

月～金	
午前 1～4校時	教科を中心とした授業 国語、社会、算数・数学、理科など
午後 5～6校時	探究 主として「シブヤ未来科」の時間 ～子ども主体の学び～ 総合的な学習の時間、道徳、特別活動等

探究の1年の流れの例(令和6年度)

例: 小学校6年生 総合的な学習の時間の年間授業時数155時間



前期(～夏休み)は、各教科の見方・考え方に基いた探究の進め方やスキルを学びます。また、渋谷区や各学校と関連のある地域の方や企業等とコラボして魅力ある体験活動を経験することで、「すごいな」「驚いた」「不思議だな」「なぜだろう」といった子どもたちの感動、発見、疑問を「問い」につなげます。

夏休み明け以降は、学校が定めた共通テーマによる探究や、子ども一人一人が立てた「問い」を探究していくMy探究を通して情報収集や整理・分析、まとめ・表現の力を高めていきます。最終的には My探究の時間を増やしていきます。

先生が教える授業から、子どもが学びを創る授業へ! シブヤ未来科で「探究」の時間が充実します!

未来に求められる3つの能力

時代とともに学び方や学校の役割も変化していきます。
渋谷区では「自ら考え判断して学び続けていく自己調整力」「多様な仲間と協働して新たな価値を生み出す創造力」「自分が思い描く未来を実現していく挑戦力」の育成に重点をおき、個別最適な学び、協働的な学び、そして探究的な学びを重視して、シブヤモデル「未来の学校」に向けた新しい教育を進めています。

「探究」することで、教科での学びを本当の学力へ

探究的な学びを充実させるのが、「シブヤ未来科」の探究の時間です。教科の学習で培った見方や考え方・スキルは、日常生活や社会の事象を考察する場面において生かされなくては本当の学力として身につけません。「シブヤ未来科」の探究の時間は、それを最大限に生かす時間です。

他者と協働的に問題を解決したり、問題解決の過程を自ら振り返ったり、方法や手順を的確に記述したり伝え合ったりする探究活動は、従来の教科等の学習の中でもありましたが、「シブヤ未来科」の探究の時間を通して、グローバルな視野をもった主体的な探究活動を充実させ、生きて働く本物の学力を身に付けていきます。

■文部科学省 授業時数特例校制度 を活用します!

令和6年度は、文部科学省「授業時数特例校制度」を区立全小・中学校で申請・活用します。国語や算数・数学など、各教科※1の授業時数の一部(1割)を総合的な学習の時間に上乗せすることで、探究の核となる総合的な学習の時間の充実を図ります。

※1 学習指導要領に定められた各教科で学ぶ内容は変わりません(減りません)。

また、音楽(中学校第2,3学年)、美術(中学校第2,3学年)、技術・家庭、特別の教科 道徳、外国語活動、特別活動の授業時数は、制度の規定により、総合的な学習の時間への上乗せはしません。

Q&A (実際に寄せられたご質問をもとに作成しています。)

Q1. 教科の授業時間が1割減ること、教科の授業の理解ができなくなるのではないかと心配です

先生から教わる受け身の授業から、自分で考えて学ぶ授業へと変えていきますので、より習熟することができます。探究は、教科で学んだことを活用・発展する学びですので、今まで以上の深い理解を得ることができます。

Q2. 探究は、この先の入試や将来に役立ちますか？

探究を通して、知識やスキルを身に付けるだけでなく、自己の創造性を発揮し問題解決能力を高めますので、入試での面接や小論文などで大きな強みになります。さらには、探究を通して身に付けた力は、入試だけでなく予測が困難な社会に生きる子どもたちにとって、将来を通して大いに役立つものとなります。

Q3. 学校や担当の先生によって評価に、ばらつきが生じませんか？

探究は、これまでも実施していた総合的な学習の時間として、担当の教員がチームになって評価します。5段階評定などは、行いません。どのように学びに取り組んだか等、学びのプロセスと成果を、数値ではなく所見で伝えます。

Q4. 先生は、企業との調整や教材の準備等で、大変になりませんか？

今年度から、毎週水曜日午後に先生方の研修時間を確保し、探究の授業の準備等にあてています。また、教育委員会でも地域連携や企業連携などの調整において、支援サイトを提供するなど、学校を支援していきます。

Q5. 探究では、地域の人たちの支援の必要はあるのですか？

これまでも、地域の皆様にシブヤ科等での御協力をいただいております。今後とも、PTAや学校運営協議会等を通じて、地域の皆様に引き続き御協力いただきながら、子どもたちの探究的な学びを支援していく体制をとっていきたいと思います。

